

環境調査結果のお知らせ

令和8年4月23日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、3月9日から3月18日まで赤潮（緑色の着色）を形成していたハプト藻と同一と考えられる植物プランクトンが最高で800 cells/mL確認されました。現在、これらのプランクトンは増殖傾向にあり、今後さらに増殖する可能性がありますので、十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ハプト藻
	(m)	(°C)		(mg/L)	
A 中学校前 (4.7m) 【09:17】	0	19.2	29.2	8.6	0
	2	20.6	31.8	8.6	200
	5	19.6	32.2	7.8	300
	10	19.3	32.6	6.2	100
	底層 12.5	18.9	32.7	4.9	100
B 光松 (4m) 【09:28】	0	19.3	29.6	8.3	800
	2	20.4	31.6	8.2	350
	5	19.7	32.4	7.4	350
	10	19.9	32.9	7.1	40
	底層 16.5	19.8	33.3	6.5	20
C 大鹿 (3.8m) 【09:38】	0	18.7	29.1	8.1	400
	2	20.0	32.0	8.0	500
	5	19.8	32.5	7.4	450
	10	19.9	33.0	7.3	150
	底層 16	19.9	33.4	7.4	20
D 水試小割前 (3.5m) 【09:48】	0	18.0	8.3	9.2	20
	2	19.9	32.1	7.8	100
	5	19.9	33.0	7.4	100
	底層 7.5	19.9	33.2	7.4	20



A: 中学校前

B: 光松

C: 大鹿

D: 水試小割前

ハプト藻

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0

×

●

1~9

○

10

100

1,000

10,000

100,000

300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

